

2013-B					
拠出金・基金の名称		国連人道問題調整事務所拠出金			
種 別		イヤーマーク 〳・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国連人道問題調整事務所 (UNOCHA)					
【所管官庁担当局課・室名】 外務省 国際協力局 緊急・人道支援課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 人道支援活動の調整業務の強化。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成25年度	522,539	6,372	-	1米ドル = 82円	100
平成24年度	516,167	6,372	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	564,183	6,339	-	1米ドル = 89円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>UNOCHAは、国連諸機関による人道支援活動の調整を主たる任務としており、自然災害や紛争等の発生に際し、迅速に被害情報の収集・発信を行うとともに、被災国政府との協議・調整を通じた支援ニーズの特定や国連統一アピールの発出等を行っている。また、災害事前準備に関する被災国政府への支援等も実施している。国際機関やNGOなど様々な主体が活動する人道支援の現場において、効率的・効果的な活動を行う上で、OCHAによるニーズの把握及び調整機能は不可欠であり、「積極的平和主義」及び「人間の安全保障」の推進の観点からもOCHAの活動は有益である。</p> <p>2013年には、シリア及び周辺国、中央アフリカ、フィリピンにおける大規模な人道危機への対応のほか、コンゴ(民)、ミャンマー、南スーダン等において各種人道支援調整を行った。また、46カ国で発生した災害に対し、OCHA内部の緊急対応メカニズムやドナーの協力を得て、324人の支援調整担当官を迅速に派遣したほか、17カ国・地域を対象としたアピールを発表し、約84億ドルの支援を要請、うち62%にあたる52億ドルが各ドナー国・支援機関から拠出される成果をあげた。</p> <p>OCHAは、現場での調整活動に優先的に予算を割り当てており、緊急事態の発生に際しては、現場のニーズや災害の規模に応じ、事務所の構成を臨機応変に変えるなどして資金の効率的運用に努めている。</p>					